

# I. 令和5年度事業報告

## 1. 学術集会、講演会等の開催（定款第4条第1号）

### (1) 年会の開催

#### 第97回 日本薬理学会年会『いのちと科学を薬でむすぶ』

2023年12月14日(木)～16日(土)、神戸国際会議場・神戸国際展示場2号館（兵庫県神戸市）で開催

年会長：今井 由美子（医薬基盤・健康・栄養研究所・プロジェクトリーダー）

登録者数：計1293名、演題数：789演題

（会員727名、関連学会会員29名、大学院生162名、学部学生103名、非会員231名、指定演者42名）

プレナリーレクチャー1演題、基調講演1演題、海外招聘特別講演1演題、特別講演18演題、年会長講演1演題、年会特別企画シンポジウム4企画16演題、共催・協賛等シンポジウム15企画58演題、次世代の会企画シンポジウム2企画8演題、新薬理学セミナー1企画3演題、創薬シーズ特設シンポジウム1企画5演題、ダイバーシティシンポジウム1企画1演題、企業企画シンポジウム2企画7演題、クスリがわかるシリーズ3企画3演題、Meet the Professors2企画2演題、市民公開講座2企画3演題、ダイバーシティ推進セミナー1企画2演題、スポンサーDシンポジウム2企画5演題、シンポジウム35企画139演題、一般演題（口演・ポスター・YIA）515演題

### (2) 地方部会

- 第147回日本薬理学会関東部会 部会長：廣瀬 謙造（東京大学・院医）  
2023年3月21日 東京大学本郷キャンパス（ハイブリッド開催）  
参加者325名、江橋節郎賞受賞講演1、学術奨励賞受賞講演3、一般演題（口演49題、ポスター34題）
- 第148回日本薬理学会関東部会 部会長：田中 光（東邦大学・薬）  
2023年6月17日 オンライン開催  
参加者253名、特別講演1、教育講演3、一般演題（口演50題、ポスター23題）
- 第143回日本薬理学会近畿部会 部会長：野田 幸裕（名城大学・薬）  
2023年6月24日 ウィンクあいち  
参加者257名、一般演題（口演79題）
- 第74回日本薬理学会北部会 部会長：久場 敬司（九州大学・院医）  
2023年9月23日 秋田カレッジプラザ  
参加者78名、特別講演1、シンポジウム1、一般演題（口演33題、ポスター8題）
- 第76回日本薬理学会西南部会 部会長：筒井 正人（琉球大学・院医）  
2023年10月7日 琉球大学医学部  
参加者110名、特別講演2、ランチョンセミナー1、YIA（口演12題、ポスター12題）、一般演題（口演6題、ポスター17題）
- 第149回日本薬理学会関東部会 部会長：木内 祐二（昭和大学・医）  
2023年10月14日 昭和大学上條記念館  
参加者207名、特別講演1、一般演題（口演36題、ポスター24題）

### (3) 市民公開講座の開催

- 市民公開講座（第143回近畿部会）2023年6月25日 名城大学八事キャンパス薬学部ライフサイエンスホール（新1号館7階）  
『愛知の発酵食品の魅力：健康と美食と文化から考える』  
講師：加藤 雅士（名城大学情報センター・農）
- 市民公開講座（第76回西南部会）2023年10月8日 沖縄県立博物館・美術館  
『琉球大学医学部の研究の紹介』  
演者：山本 和子（琉球大学・医）、益崎 裕章（琉球大学・医）、石田 明夫（琉球大学・医）、  
高槻 光寿（琉球大学・医）、喜瀬 勇也（琉球大学・医）、首藤 剛（熊本大学・院生命）

- ・市民公開講座（第 97 回年会） 2023 年 12 月 15 日 神戸国際展示場 2 号館 3 階 3B 会議室  
『未病の医学と数学』  
演者：合原 一幸（東京大学国際高等研究所），岩見 真吾（名古屋大学・理）
- ・市民公開講座（第 97 回年会） 2023 年 12 月 16 日 神戸国際展示場 2 号館 2 階 2A 会議室  
『「きこえ」の重要性 —人生 100 年心豊かに過ごすために—』  
演者：日比野 浩（大阪大学・院医），太田 有美（大阪大学・院医）

(4) 次世代薬理学セミナーの開催

- ・次世代薬理学セミナー2023 in 東京（第 147 回関東部会開催時ハイブリッド開催）2023 年 3 月 21 日  
『グリア細胞を標的とした行動薬理学研究』
- ・次世代薬理学セミナー2023 in 沖縄（第 76 回西南部会開催時ハイブリッド開催）2023 年 10 月 7 日  
『多様な手法による生命現象解明への挑戦』

(5) 看護薬理学カンファレンスの開催

- ・看護薬理学カンファレンス 2023 in 東京，2023 年 6 月 18 日 大会長：石毛 久美子（日本大学・薬）
- ・看護薬理学カンファレンス 2023 in 神戸，2023 年 12 月 17 日 大会長：古屋敷 智之（神戸大学・院医）

(6) 他学会等との共催学術集会の開催

- ・AMED-CREST/PRIME マルチセンシング領域/JST-CREST マルチセンシング領域との共催シンポジウム  
2023 年 3 月 14 日（日本生理学会第 100 回記念大会時），国立京都国際会館  
『感覚研究の新時代』  
座長：日比野 浩（大阪大学・院医），津田 誠（九州大学・院薬）
- ・日本毒性学会との合同シンポジウム 2023 年 6 月 20 日（第 50 回日本毒性学会年会時），パシフィコ横浜  
『薬物副作用に関わる性差』  
座長：黒川 洵子（静岡県立大学・院薬），上原 孝（岡山大学・院医歯薬）
- ・日本看護研究学会との公開セミナー 2023 年 8 月 19 日（第 49 回日本看護研究学会学術集会時），オンライン  
『服薬支援を実施するにあたって知っておきたい看護に活かせる薬理学』  
座長：赤瀬 智子（横浜市立大学・医看）
- ・日本感染症学会との共催シンポジウム 2023 年 12 月 14 日（第 44 回日本臨床薬理学会年会時），神戸国際展示場  
『抗菌薬開発の問題点；臨床試験マネジメントの実情と課題』  
座長：小池 竜司（東京医科歯科大学・HeRD），古賀 道子（東京大学医科学研究所）
- ・日本学術会議後援 日本医学会連合加盟学会連携フォーラム事業 日本薬理学会・日本解剖学会・日本生理学会・日本衛生学会連携シンポジウム  
2023 年 12 月 14 日（第 97 回日本薬理学会年会時），神戸国際会議場  
『ワンヘルスの実現に向けた生命科学研究』  
座長：西田 基宏（九州大学・院薬），日比野 浩（大阪大学・院医）

(7) 内外の関連学術団体との連携及び協力

- ・第 9 回日中薬理学・臨床薬理学 Joint Meeting（2023 年 7 月 23 日～26 日，上海）に本会代表とし古屋敷智之教授（神戸大学）が参加した。
- ・第 2 回国際対応アソシエイツ交流会（2023 年 8 月 2 日）をオンライン開催した。
- ・ASCEPT 2023 Annual Scientific Meeting（2023 年 11 月 20 日～23 日，シドニー）に講師交換プログラムとして古屋敷智之教授（神戸大学）を派遣した。
- ・第 97 回年會中に IUPHAR データベース・電子教科書利用講習会「IUPHAR データベース Guide to Pharmacology, Pharmacology Education Project (PEP) の利用ガイダンス」を開催し，金井好克教授（大阪大学），富田修平教授（大阪市立大学）が講演した。
- ・日本学術会議「未来の学術振興構想」に日本解剖学会・日本生理学会・日本薬理学会が合同で「ワンヘルスの実現に向けた生命科学研究のサステナブル循環システムの構築」を提案し，「学術の中長期研究戦略」No. 35 に掲載された。
- ・日本医学会連合領域横断的連携活動事業（TEAM 事業）の 2023 年度採択事業に参加し，2024 年度 TEAM 事業を提案した。

## 2. 学会誌等刊行物の刊行（定款第4条第2号）

### (1) Journal of Pharmacological Sciences の刊行

発行巻号	151 巻 1～4 号, 152 巻 1～4 号, 153 巻 1～4 号	掲載頁数	( 篇数)
① Review		15 頁	( 3)
② Full Paper		582 頁	( 61)
③ Short Communication		62 頁	( 13)
	合計	659 頁	( 77)

### (2) 日本薬理学雑誌（くすりとかからだ／ファーマコロジカ）の刊行

発行巻号（部数） 158 巻 1 号（3,550 部）, 158 巻 2 号（3,550 部）, 158 巻 3 号（3,000 部）,  
158 巻 4 号（3,150 部）, 158 巻 5 号（3,300 部）, 158 巻 6 号（3,450 部）,

	掲載頁数	( 篇数)
① 特集序文	17 頁	(17)
② 特集および総説	314 頁	(62)
③ 実験技術	5 頁	( 1)
④ 創薬シリーズ	36 頁	( 6)
⑤ 新薬紹介総説	97 頁	(10)
⑥ キーワード解説	0 頁	( 0)
⑦ 最近の話題	11 頁	(11)
⑧ サイエンス/リレーエッセイ	3 頁	( 3)
⑨ 学会便り/研究室訪問	9 頁	( 9)
⑩ アゴラ	9 頁	( 5)
⑪ 広告	20 頁	
⑫ 綴込み, 目次等上記以外の頁	77 頁	
	合計	598 頁 (124)

## 3. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第4条第3号）

### (1) 第17回日本薬理学会江橋節郎賞授賞

上田 泰己（東京大学大学院医学系研究科・教授）

### (2) 第39回日本薬理学会学術奨励賞授賞（所属等の標記は授賞時）

鈴木 良明（名古屋市立大学大学院薬学研究科・講師）

『カルシウムマイクロドメインによる血管機能制御機構の解明』

永安 一樹（京都大学大学院薬学研究科・助教）

『情動制御およびストレス抵抗性におけるセロトニン神経の役割に関する研究』

矢吹 悌（熊本大学発生病学研究所・准教授）

『プリオン性タンパク質凝集機構の解明と創薬応用に関する薬理学的研究』

### (3) 第28回 Journal of Pharmacological Sciences 優秀論文賞決定

Piezo 1 is involved in intraocular pressure regulation.

Wataru Morozumi, Kota Aoshima, Satoshi Inagaki, Yuki Iwata, Shinsuke Nakamura, Hideaki Hara,  
Masamitsu Shimazawa

Journal of Pharmacological Sciences, Volume 147, Issue 2, October 2021, Pages 211-221

Novel FABP3 ligand, HY-11-9, ameliorates neuropathological deficits in MPTP-induced Parkinsonism in mice.  
Haoyang Wang, Kohji Fukunaga, An Cheng, Yifei Wang, Nariko Arimura, Hiroshi Yoshino, Takuya Sasaki,  
Ichiro Kawahata  
Journal of Pharmacological Sciences, Volume 152, Issue 1, May 2023, Pages 30-38

Combinatorial screening for therapeutics in ATTRv amyloidosis identifies naphthoquinone analogues as TTR-selective amyloid disruptors.  
Ryoko Sasaki, Mary Ann Suico, Keisuke Chosa, Yuriko Teranishi, Takashi Sato, Asuka Kagami,  
Shunsuke Kotani, Hikaru Kato, Yuki Hitora, Sachiko Tsukamoto, Tomohiro Yamashita, Takeshi Yokoyama,  
Mineyuki Mizuguchi, Hirofumi Kai, Tsuyoshi Shuto  
Journal of Pharmacological Sciences, Volume 151, Issue 1, January 2023, Pages 54-62

(4) 第 97 回年会優秀発表賞（五十音順・6 名）

鹿島 哲彦（東京大学・院薬）	宮田 晃志（徳島大学・院医）
福田 雅俊（大阪大学・医）	三原 大輝（東京大学・院農）
全 麗麗（国立精神・神経医療研究センター・神経研究所）	山内 智暁（九州大学・院薬）

(5) 2023 年度 JPS 優秀査読者賞

- Kazuho Sakamoto (University of Shizuoka)
- Junko Kurokawa (University of Shizuoka)
- Kazuharu Furutani (Tokushima Bunri University)
- Takayuki Matsumoto (Hoshi University)

4. 薬理学に関する研究及び調査（定款第 4 条第 4 号）

(1) 第 97 回年会の事前参加登録者に一斉メールを配信し、参加者アンケートを行った。回収した参加者層のデータや参加目的、薬理学会の年会に対する様々な要望を分析し、今後の年会の活性化に生かしていく。

5. 内外の関連学術団体との連携及び協力（定款第 4 条第 5 号）

(1) 学術集会の共催および連携 上記 1. の(6)参照

(2) 学術集会の協賛・後援 (令和5年総会資料掲載以降令和6年総会の前日まで)

後 援

---

1) 「子どもの薬を創る会」第6回セミナー	令和5年3月23日
2) 第72回 脳の医学・生物学研究会	4月15日
3) 第17回トランスポーター研究会年会 (JTRA17)	5月27日
4) 「子どもの薬を創る会」第7回セミナー	7月12日
5) 第7回黒潮カンファレンス	7月22日, 23日
6) 第13回トランスポーター研究会九州部会	8月5日
7) 第28回日本病態プロテアーゼ学会学術集会	8月25日, 26日
8) 第73回 脳の医学・生物学研究会	8月26日
9) 第42回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム	9月2日, 3日
10) 第24回応用薬理シンポジウム	9月16日, 17日
11) 日本薬物動態学会第38回年会/第23回シトクロム P450 国際会議国際合同大会	9月25日～29日
12) 日本動物実験代替法学会第36回大会	11月27日～29日
13) 創薬薬理フォーラム第31回シンポジウム	11月30日
14) 日本ハーブ療法研究会 第9回学術集会	12月2日
15) 第33回神経行動薬理若手研究者の集い	12月13日
16) 「子どもの薬を創る会」第8回セミナー	12月26日
17) 第33回日本循環薬理学会	令和6年1月27日
18) ITMAT Kyoto University International Symposium	3月10日, 11日
19) 「子どもの薬を創る会」第9回セミナー	3月11日

協 賛

---

1) 第30回 HAB 研究機構学術年会	令和5年5月25日, 26日
2) 第50回日本毒性学会学術年会 JSOT2023 毒性学ってなんだ?ーそしてその先へー	6月19日～21日
3) 第25回 活性アミンに関するワークショップ	8月26日

6. 会議等の開催状況（令和5年総会資料掲載以降令和6年総会前日まで）

総 会	令和5年度 通常総会	令和5年3月21日	(東京)
学術評議員会	令和5年度	令和5年3月21日	(東京)
理 事 会	第2回	3月20日	(東京&Zoom)
	第3回	8月28日	(Zoom)
	第4回	12月13日	(神戸&Zoom)
	令和6年度 第1回	令和6年3月4日	(決議の省略)
総務委員会	令和5年度 第1回	令和5年8月18日	(Zoom ミーティング)
	第2回	11月13日	(東京&Zoom)
財務委員会	令和5年度 2回	令和5年7月12日～27日	(メール会議)
	第3回	11月14日	(東京&Zoom)
	財務ワーキング	11月14日	(Zoom ミーティング)
	会計監査	令和6年2月19日、21日～22日	(東京)
	監事監査	2月29日	(東京&Zoom)
編集委員会	令和5年度 第1回	令和5年12月14日	(神戸)
研究推進委員会	令和5年度 第1回	令和5年10月2日～5日	(メール会議)
広報委員会	令和5年度 第1回	令和5年6月24日	(愛知)
	第2回	令和5年12月14日	(神戸)
企画教育委員会	令和5年度 第2回	令和5年8月10日	(Zoom ミーティング)
	令和6年度 第1回	2月14日	( 〃 )
次世代の会			(メール審議)
賞等選考委員会	令和5年度 第1回	令和5年10月24日	(Zoom ミーティング)
年会学術企画委員会	令和5年度 第2回	令和5年5月8日	(Zoom ミーティング)
	令和6年度 第1回	令和6年1月12日	( 〃 )
江橋賞選考委員会	令和5年度 第1回	令和5年10月23日	(Zoom ミーティング)
国際対応委員会	令和5年度 第1回	令和5年10月28日～30日	(メール審議)
将来構想委員会	令和5年度 第2回	令和5年6月5日	(Zoom ミーティング)
	第3回	10月3日	( 〃 )
	令和5年度 第1回	令和5年6月7日～12日	(メール審議)
DX推進委員会	第2回	12月14日	(神戸)
	令和5年度 第1回	令和5年3月7日	(Zoom ミーティング)
百周年準備委員会	第2回	12月4日	( 〃 )

7. 会員状況（令和5年12月31日現在）

会員数および異動状況（下段は前年度との差）

代 議 員 (正会員を含む)	名誉会員	永年会員	正 会 員		総 数
			学術評議員	一般会員	
138	132	126	1,159	2,273	3,690
-1	+1	+6	-18	-104	-115

新入会者数：346名，退会者数：461名（逝去者，会費未納除籍者含む）

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。